AISEI-NEWS

20 愛整ニュース

公益社団法人
愛知県柔道整復師会
http://shadan-aisei.jp/

2013 年 11 月 27 日発行 (通巻 307 号)

学術大会　東海初の単独開催

11 月 17 日（日）、午前 9 時 30 分から午後 4 時まで、公益社団法人日本柔道整復師会 第 48 回東海学術大会 三重大会が、近鉄四日市駅からほど近い四日市市文化会館で開催され、414 名（本会会員 120 名）が参加した。三重県柔道整復師会主管で行なわれた今回の学会は、中部接骨学会が昨年の第 94 回をもって休止となったため、東海 4 県で初めての単独開催となった。

10 時 15 分より 11 時 45 分まで、A 会場（第 2 ホール）で、**特別講演（一般公開講座）**が行われ、シンクロスイミング・デュエットのオリンピックメダリスト武田美保 三重大学特任教授に、「夢を追いかけて」と題してご講演頂いた。

黒の清楚ないでたちで颯爽と登壇された武田先生は、現役時代を彷彿とさせる、指先まで神経が行き届いたしなやかで切れの良い所作を交えながら、学生時代のシンクロを始めたきっかけや、井村雅代コーチとの出会い、オリンピック代表選手に至る経緯、シドニー大会出場の模様などを紹介された。

特にシドニーで体験した独特の水中感覚を臨場感たっぷりに語られ、長年夢を追いかけてきて「最後にやっと自分との勝負に勝った、自分に合格点を与えたい」と、当時の心境を述懐された。「“もう無理かも！”と思っている限界を超えられるところに、人間の能力の可能性があると考えている」と示唆いただいた。

12 時 30 分から 14 時 30 分まで、A 会場では 12 題の**会員発表**が行われ、本会から 3 会員が以下の 3 題を報告した。

- 簡易な固定具による機能的固定ー手・指を対象としてー　山岸裕幸（熱田）
- 自らが経験した鎖骨骨幹部骨折に対する臥位整復法の応用　横井達典（大曽根）
- 徒手整復が可能であった示指ロッキングの一考察　林 厚宏（熱田）

発表者 左から山岸会員・横井会員・林会員

ポスター発表担当教官 船戸会員（右）

公益社団法人日本柔道整復師会 第 48 回東海学術大会 三重大会

三谷会員

B 会場では会員発表とほぼ同時進行にて、2 部構成でイベントが行われた。第 1 部・**日整セミナー（介護関連講習会）**として、「柔道整復師と介護保険について」と題して、日整保険部介護保険対策課の川口貴宏課員と、本会の三谷 誉課員（一宮）が講演し、転倒の危険因子・転倒の情報収集などについて述べ、第 47 回学会のアンケートで要望があった機能訓練の具体的な運動方法を例示した。関心の高まりもあって 119 名（本会 59 名）が熱心に聴講した。

日整セミナー

第 2 部では柔道整復養成学校による**ポスター発表**が行われ、「ACL 損傷を見逃さないために HOPS の重要性を再確認する」と題して、米田柔整専門学校 3 年 上杉 舞さんと船戸嘉忠担当教員（中村）が発表した。「膝崩れ・不安定感・違和感」の訴えと、ACL 損傷を疑うことにより 90%程度は問診の段階で診断可能である。丁寧で注意深い評価の習熟に努めたいと締めくくった。

シンポジウムで発言する藤川会員（右）

14 時 30 分から 15 時 30 分まで、「東海選出の日整保険部に問う（受領委任制度の今後の行方）と題して**シンポジウム**が行なわれた。三重県国民健康保険団体連合会の審査管理課長 清水一典氏と、東海 4 県から選出された日整保険部員 伊藤宣人（三重）・鹿野道郎（岐阜）・藤川和秀（愛知）の 3 会員の 4 名をシンポジストとして、豊田長億 三重県副会長のコーディネートのもと、受領委任制度の現状と問題点、さらに全国決済制度に向けた柔整支払機関設立の今後の問題点や方向性につき言及した。今回は時間的制約もあったため、さらなる情報提供が重要と思われた。

今回から始まった東海ブロック単独開催に際し、パンフレットも一新され、研究発表と介護セミナーの同時間帯での開催やポスター発表などの創意工夫もあり、主管県の並々ならない努力のおかげで実りある結果を得られた。ただ、会員が学会発表と介護セミナーに分散されること、両方聴きたい会員は困惑することなど、課題がなかったとはいえない。教訓として東海ブロック全体に反映していくことが肝要である。

津島市健康祭り

10 月 20 日（日）、毎年恒例の津島市健康祭りが本年は初めて津島市生涯学習センターを開催場所として行われました。

今回も津島市会員を中心に中村支部会員（勤務柔整師等含む）10 名が、午前 9 時から午後 3 時 30 分まで、医師会・歯科医師会・薬剤師会と同じ 2 階フロアにブースを設け、参加者に足型測定やテーピングなどを行ないました。

津島市担当者によれば参加者が 100 名を超えるコーナーは大変人気があるコーナーとのこと。一日中雨だったにも関わらず、昨年の 149 名を上回る 161 名の市民が柔道整復師会コーナーを訪れて活気ある一日となりました。市民の皆さんには今年も喜んで頂き大役が果たせたと思います。（長瀬理次・中村）

「大石康先生の文部科学大臣生涯スポーツ功労者表彰を祝う会」

大石 康会員（半田）が、長年にわたりスポーツの振興普及に尽力し顕著な功績をあげたとして、10 月 14 日、文部科学大臣より表彰状を授与された。

11 月 4 日（月・祝）午後 5 時より、その祝賀会が尾張一宮駅ビル・シビックホールにて盛大に開催され、本会会員 30 数名を含む柔道関係者や大石道場 OB ら約 300 名がお祝いに駆けつけた。

苦楽を共にした奥様と一緒に登壇した大石会員は、「東京五輪の決定で次の目標ができた。7 年後まで子どもたちの指導に頑張る」と、力強く抱負を述べた。

アイバンク募金持参

10 月 16 日（水）、（公財）愛知県アイバンク協会が主催する目の愛護デー記念式典が県医師会館で行われ、石田総務部長と小村事務長が出席。式典後、協会事務所にて、皆さんからの募金、総額 79,287 円を寄付しました。

開催予告

- **◆災害救護赤十字奉仕団講習会　12 月 1 日(日)10:00～12:00 愛整会館**
- **◆第 8 回県民公開講座**
  - **平成 26 年 2 月 16 日(日)10:00～11:30　ウイングあいち 5 階小ホール 2**
  - **柳本有二先生(神戸常盤大学保健科学部看護学科教授)**
  - **「身体のゆがみを直して 100 歳まで歩ける体力をつけるコツ」**